

ツアー・オブ・ジャパン

(自転車月間推進協議会)
朝日新聞社など主催

福島2位

ハウス優勝

第6日(伊豆ステージ)は静岡県伊豆市の日本サイクルスポーツセンター周回コース(97.6キ)であり、クリスチャン・ハウス(ラファコンドル・シャープ)が優勝した。福島晋一(クムサンジンセンアジア)が2位に入った。最終ステージは23日に東京都内であり、総合優勝が決まる。

▽第6戦の個人順位 ①クリスチャン・ハウス(ラファコンドル・シャープ) 2時間50分44秒②福島晋一(クムサンジンセンアジア) 2時間51分03秒③マイケル・マシュー(チームジャイコ・スキズ) 2時間51分05秒

38歳「まだ強く」

ラスト5000メートルの上りの直線で、38歳の福島がスパートをかけた。苦しそうに走る20歳代の選手たちを一気に抜き去り、1万7千人が見つめるゴールを2着で走り抜けた。

日本のロードレース界を引っ張り続け、2004年大会



集団を引っ張る福島晋一(左端)

では日本人で唯一の個人総合優勝を果たした。しかし、前回大会は力不足で出場できず。「自分は衰えちゃいない。まだ強くなれる」。今大会はそれを証明するためのレースと位置づけている。

19日の南信州ステージは最終盤まで外国人選手とトップ争いを演じて4位、21日の富士山ステージでも6位に入った。誰もが認める今大会の「敢闘賞」だ。

現在所属する「クムサンジンセンアジア」は、ツール・ド・フランスにアジア人だけで出場するという夢を実現させるために、今年1月に自身で立ち上げたチーム。韓国、タイ、シンガポールなどから集めた若手選手の育成に力を入れる。「自分を追い越す若手選手が育って欲しいけど、まだ負けられない」。最終日の東京ステージでもアラフォ